

**【知識】**

終末期患者のケアについてお伺いします。下記の項目について、「正しい」か「間違っている」または「わからない」のいずれかに、それぞれひとつに○をおつけください。

正しい	間違っている	わからない
1	2	3
1	2	3

**【理念】**

• 緩和ケアの対象は、根治的治療法のない患者のみである	1	2	3
• 緩和ケアは、がんに対する治療と一緒にには行わない	1	2	3

**【疼痛・オピオイド】**

• 疼痛治療の目標の一つは、夜ぐっすり眠れるようになることである	1	2	3
• がん性疼痛が軽度の場合、医療用麻薬よりもペンタゾシン（ペンタジン®・ソセゴン®）を積極的に使用すべきである	1	2	3
• 医療用麻薬を使用するようになると、非ステロイド性抗炎症鎮痛薬（NSAIDs）は同時に使用しない	1	2	3
• 医療用麻薬投与中にペンタゾシン（ペンタジン®・ソセゴン®）やブプレノルフィン（レパタン®）を投与すると、医療用麻薬の効果を減弱することがある	1	2	3
• 医療用麻薬を長期間使用すると、薬物中毒がしばしば生じる	1	2	3
• 医療用麻薬の使用は、患者の生命予後に影響しない	1	2	3

**【呼吸困難】**

• がん患者の呼吸困難はモルヒネでやわらげることができる	1	2	3
• 疼痛に対して医療用麻薬を定期的を使用している場合、呼吸困難を緩和するために医療用麻薬を追加すると、呼吸抑制が起こりやすい	1	2	3
• 患者の息苦しさは酸素飽和度は比例する	1	2	3
• 死亡直前に痰がのどもとでゴロゴロいうとき、抗コリン薬【臭化水素酸スコポラミン（ハイスコ®）や臭化ブチルスコポラミン（ブスコパン®）】が有効である	1	2	3

**【せん妄】**

• 死亡直前では、電解質異常や脱水を補正しないほうが、苦痛が少なくなることもある	1	2	3
• がん患者のせん妄の改善には、抗精神病薬が有効なことが多い	1	2	3
• 死亡直前に苦痛をやわらげることができる方法が、鎮静（持続的な鎮静薬の投与）以外にはない患者がいる	1	2	3

• 終末期がん患者のせん妄はモルヒネが単独の原因となっていることが多い	1	2	3
	正しい	間違っている	分からない
<b>【消化器症状】</b>			
• がんの終末期では、腫瘍によるカロリーの消費が増えるため、早期がんより多いカロリーを必要とする	1	2	3
• 末梢静脈が確保できなくなった場合、選択できる輸液経路は中心静脈だけである	1	2	3
• ステロイドはがん患者の食欲不振を緩和する	1	2	3
• 死亡が近い時期にある患者の口渇は、輸液でやわらげることができない	1	2	3

### 【看取り】

• 死前喘鳴は終末期患者の約4割に起こる、自然な経過である	1	2	3
• 死前喘鳴は吸引により改善される	1	2	3
• 脱水傾向にある患者は、患者自身は苦痛であることが多い	1	2	3
• 終末期にみられるチアノーゼは、酸素の投与により改善させる	1	2	3
• 意識障害とせん妄とは異なるもので、死が近づくにつれ意識レベルは低下することが多い	1	2	3
• 受診後24時間以内に患者が死亡した場合、医師は改めて診察せずに死亡診断書が発行できる	1	2	3

**【知識】**

**終末期患者のケアについてお伺いします。下記の項目について、「正しい」か「間違っている」または「わからない」のいずれかに、それぞれひとつに○をおつけください。正答**

正しい	間違っている	わからない
1	2	3
1	2	3

**【理念】**

• 緩和ケアの対象は、根治的治療法のない患者のみである	1	2	3
• 緩和ケアは、がんに対する治療と一緒にには行わない	1	2	3

**【疼痛・オピオイド】**

• 疼痛治療の目標の一つは、夜ぐっすり眠れるようになることである	1	2	3
• がん性疼痛が軽度の場合、医療用麻薬よりもペンタゾシン（ペンタジン®・ソセゴン®）を積極的に使用すべきである	1	2	3
• 医療用麻薬を使用するようになると、非ステロイド性抗炎症鎮痛薬（NSAIDs）は同時に使用しない	1	2	3
• 医療用麻薬投与中にペンタゾシン（ペンタジン®・ソセゴン®）やブプレノルフィン（レパタン®）を投与すると、医療用麻薬の効果を減弱することがある	1	2	3
• 医療用麻薬を長期間使用すると、薬物中毒がしばしば生じる	1	2	3
• 医療用麻薬の使用は、患者の生命予後に影響しない	1	2	3

**【呼吸困難】**

• がん患者の呼吸困難はモルヒネでやわらげることができる	1	2	3
• 疼痛に対して医療用麻薬を定期的を使用している場合、呼吸困難を緩和するために医療用麻薬を追加すると、呼吸抑制が起こりやすい	1	2	3
• 患者の息苦しさは酸素飽和度は比例する	1	2	3
• 死亡直前に痰がのどもとでゴロゴロいうとき、抗コリン薬【臭化水素酸スコポラミン（ハイスコ®）や臭化ブチルスコポラミン（ブスコパン®）】が有効である	1	2	3

**【せん妄】**

• 死亡直前では、電解質異常や脱水を補正しないほうが、苦痛が少なくなることもある	1	2	3
• がん患者のせん妄の改善には、抗精神病薬が有効なことが多い	1	2	3
• 死亡直前に苦痛をやわらげることができる方法が、鎮静（持続的な鎮静薬の投与）以外にはない患者がいる	1	2	3

• 終末期がん患者のせん妄はモルヒネが単独の原因となっていることが多い	1	2	3
	正しい	間違っている	分からない
<b>【消化器症状】</b>			
• がんの終末期では、腫瘍によるカロリーの消費が増えるため、早期がんより多いカロリーを必要とする	1	2	3
• 末梢静脈が確保できなくなった場合、選択できる輸液経路は中心静脈だけである	1	2	3
• ステロイドはがん患者の食欲不振を緩和する	1	2	3
• 死亡が近い時期にある患者の口渇は、輸液でやわらげることができない	1	2	3

### 【看取り】

• 死前喘鳴は終末期患者の約4割に起こる、自然な経過である	1	2	3
• 死前喘鳴は吸引により改善される	1	2	3
• 脱水傾向にある患者は、患者自身は苦痛であることが多い	1	2	3
• 終末期にみられるチアノーゼは、酸素の投与により改善させる	1	2	3
• 意識障害とせん妄とは異なるもので、死が近づくにつれ意識レベルは低下することが多い	1	2	3
• 受診後24時間以内に患者が死亡した場合、医師は改めて診察せずに死亡診断書が発行できる	1	2	3